

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	35000 円	
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	9000 円	e-sim
現地通学費	8000 円	(研修先まで 50分)
教養娯楽費	36000 円	
被服費	円	
雑費	円	
その他	35000 円	例:お土産
合計	123,000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田空港で両替 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
基本的にクレジットカードしか使わなかった。 友達と割り勘する際に現金があると便利だった。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
e-sim を事前に購入した。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
スリッパ、ドライヤー、ボトル(学校でコーヒーやココア、紅茶などを入れられる)、ホストファミリーへのお土産 部屋の中も意外と寒かったので、あたたかい部屋着をもって行って良かった。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
学校でのオリエンテーションやたびレジで情報収集した。 街の中心から離れると20時以降歩いている人を全く見かけなかったため夜遅くはなるべく一人で出歩かないように心がけた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題はなかった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	

日本のお菓子を土産として持って行ったがとても喜んでくれた。
シャワーや夜ご飯の時間などのルールは家庭によって異なるので最初に確認しておくべきだと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

クラスは初日のオリエンテーションで行うテストでレベル分けされたため、自分の苦手なスキルを強化できるクラスで学ぶことができた。クラスによって異なるが、自分のいたクラスでは日本以外に 7 か国の異なる国から来た人がいたため、様々な国の言葉や文化、考え方を知ることができた点が良かったと思う。授業のスタイルも日本とは全く違い最初の 2 時間ずっと話す日もあった。ただ、8 月後半からは日本人がかなり増えたため、どうしても日本語を話すことが多くなってしまった。

2) 課外プログラムについて

Conversation club や sports club など放課後に行われているアクティビティでは他クラスの人ともかかわれるいい機会だった。週末にはテカポ湖ツアーがあり、ニュージーランドの自然の美しさをたくさん感じられた。バスで行き、運転手の方がいろいろサポートしてくれたのでとても安心だった。

3) 現地での生活に関すること

自然が多くのかげな街だった。電車はなく車がバスでの移動が基本。メロカードを買うと現金払いよりもお得でオンラインでチャージできたのが便利だった。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

学校は大学の敷地内にあるが、現地の学生との交流はなかった。しかしアクティビティなどを通して違うクラスの人とも交流することができた。

2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

街の中心であっても閉店時間が早い、行きたい場所は時間を確認してから行くのが良いと感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この 3 週間の研修を通して、語学学習だけでなく異文化を体験することができた。学校の授業ではグループの人たちと幅広いトピックについて話し合い、お互いの国の文化や考え方について共有し合うことが多く、一番苦手としているスピーキングをたくさん練習することができた。異文化理解にも大いに役立った。国籍や年齢、英語を学ぶ理由が人それぞれで、みんな高いモチベーションをもっておりそのような人々と共に学習するのは自分にとって良い環境だった。また、ゲームなどのアクティビティも交えたスタイルの授業で今まで受けてきた英語の授業で一番楽しく、実践的なものだったと感じている。

ホストファミリーとの会話は、Kiwi アクセントが強く聞き取りに苦労したが、それによりもっと英語を聞き話せるようになりたいというモチベーションにつながったと思う。3 週間という短い期間ではあったが、ニュージーランドの人々の優しさや豊かな自然を感じ、非常に貴重な時間を過ごすことができた。他国から来た人も多く、学校のサポートもしっかりしているため、学習においても良い環境だと思う。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL Christchurch 英語研修
-----	------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	外食すると安くても一食 1500 円ほどかかる
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2000 円	元々日本で契約していたプランが足りなくなり、Airalo というサイトで購入
現地通学日	10000 円	(研修先まで 50 分)バス代はカードを作ると一回 2.5 \$ で、一週間の上限は 25 \$ それ以降は無料でバスに乗れる
教養娯楽費	45000 円	テカボ旅行(学校主催のもの)、スキーのリフト料金、動物園など
被服費	4000 円	運動着などを購入
雑費	40000 円	お土産代など
その他	円	例:
合計	141000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法:
 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

Revolute のデビットカードで日本円をニュージーランドドルに換金して支払いしていた。日本のクレジットカードなどで支払うよりも手数料がかからずレートが良い。現金は 1 万円だけ空港で換金し、友人との食事などで割り勘するときに使っていた。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

ホームステイ先では家の Wi-Fi を使わせてもらっていた。
 モバイル通信については、最初の15日間は元々使っていた ahamo が海外でデータローミングできたため、そのまま使っていた。
 15日以降は足りない分を Airalo という会社からSIMフリーで購入。アプリをインストールするだけで簡単に買えるし、通信速度も問題なかった。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

洗濯ネット、サングラスか帽子(冬でも結構日差しが強く眩しかった)、部屋履き
 ビニール袋やジップロック(帰りのパッキングに意外と使える)、冬用のパジャマ(家の中は結構寒かった)

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

外務省のたびレジを登録していた。実際に犯罪に巻き込まれたことはなかったが、滞在中にバスで寝ていた人が盗難に遭ったという話を聞いたので、荷物には気を配った方がよい。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

契約していた通信会社で全く問題なく快適だった。学校にも一応 Wi-Fi があるが、教室内ではあまり接続が良くない。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☒自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ホストファミリーはすごく優しく、休日にはハイキングやドライブに連れて行ってくれた。
21 時頃には寝る準備を済ませている家庭だったため、自分もそれくらいにはシャワーなどを浴び終えているようにしていた。
シャワーの時間制限などは特に言われていなかったが、なるべく早く済ませるように心がけていた。
家の中は暖炉がつく夜以外は結構寒かったので、暖かい部屋着などを着ていた。
ホストファミリーに手紙を書いて最終日に渡したら喜んでくれたのでおすすめ。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

スピーキングを上達させたいと思っており、初日のインタビューの時にそれを伝えたところ、スピーキングをたくさんするクラスに入れてもらったので良かった。夏休みという時期もあり、日本人がすごく多かった。クラスの半数は日本人だったが、教室内で日本語を話すと先生に注意されるので英語を使っていた。結果的に英語を話せる機会が多く、良かったと思う。

2)課外プログラムについて

学校主催のテカポ旅行に参加した。星空がすごくきれいで感動したのでぜひ行ってみたい。(参加人数に制限があるため、募集が出たら早めに申し込みした方がよい)
木曜日の放課後のスポーツクラブも楽しかった。

3)現地での生活に関すること

ニュージーランドは早寝早起きの家庭が多い。最初の方は慣れるのに苦労したが、ホームステイ先の生活サイクルになるべく合わせるようにしていた。冬の時期はお店が早く閉まってしまう、平日の 18 時頃には中心部にも人があまりいない。
人種の多様性に富んでおり様々な国の人が生活をしているため、居心地が良かった。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

現地学生とはキャンパスが異なるため交流機会はなかった。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

特になし。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

クライストチャーチは自然が豊かで、休日などはハイキングや散歩、ロードバイクなどで自然を楽しむ人が多く、すごく素敵な文化だと思った。バスを降りる時には運転手さんに Thank you と声をかける文化がある。最初は少し恥ずかしかったが、だんだん慣れてくる。ドライブなどに行くと道端にたくさん羊がおり、人口よりも羊の方が多いのは納得だった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

ニュージーランド留学は本当に楽しいものになりました。日本の暑い夏から離れ、自然に囲まれて規則正しい世活をするのが私にとってはすごくストレスフリーで居心地が良かったです。短期留学なので、時間が過ぎるのがすごくあっという間で、もう少し滞在したかったです。ホストファミリーについては、慣れない環境で初めて会った人と生活を共にするのが最初は少し緊張しました。自分の意見を積極的に話したり、些細なことでも疑問に思ったことを質問することで会話の機会を増やせば、距離を縮められると思います。COEL での授業はとても楽しく、先生も皆フレンドリーで感じが良かったです。
留学を通して英語も好きになりました。留学しようか迷っている人にはぜひおすすめしたい場所です！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	45,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	22,000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 25 分)徒歩で通学していたため
教養娯楽費	52,000 円	
被服費	3,000 円	
雑費	13,000 円	
その他	20,000 円	例:交通費、お土産代など
合計	150,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
 現金の用意方法: 成田空港で両替
 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
 支払いはほぼカードでした。割り勘するときに現金を使いました。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
 ドコモの世界そのままギガを利用しました。特に不便さを感じることはありませんでした。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
 ホストファミリーへのお土産、水筒、日本のお菓子、防寒具。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 研修先、ホストファミリー、警察)
 特記事項: 財布をなくし、遺失届を提出しましたが見つかりませんでした。研修先の日本人スタッフの方やホストファミリーが親身になって探すのを手伝ってくれました。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
 ホストファミリーから夜気を付けるべき道を教えてもらいました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 ホームステイ先でも研修先でも Wi-Fi が使えました。接続できないことはありませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☒自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ホストファミリーとの距離感はその家庭ごとに異なると感じました。私のホストファミリーはあまり干渉してこないタイプでしたが、必要なものはすべて揃っていて特に不便に思うことはありませんでした。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

クラスにいる生徒は国籍も年齢もバラバラでたくさんの新しい出会いがありました。授業中は常に英語を使う必要があり、勉強になりました。夏休み期間のため日本人がとても多かったです。

2)課外プログラムについて

研修先で紹介された、テカポ湖とアカロアに行くツアーに参加しました。どちらもニュージーランドでしか出来ない素晴らしい体験でした。自分で行くことは難しいので絶対に参加するべきだと思います。

3)現地での生活に関すること

ホームステイということもありニュージーランドの暮らしを体験することが出来ます。人が少なく自然があふれていて穏やかな時間が流れています。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

現地学生との交流はありませんでした。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

ホームステイ先に小学生の息子がいました。放課後一緒に遊んだり、散歩に行ったりしました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

店員さんが同僚や初対面のお客さんとお喋りしながらとても楽しそうに働いているのが印象的でした。また、ホームステイ先では家事が完全に分担されていて、家族の時間を大切にしているのが分かりました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この研修は私にとって忘れられない経験になりました。様々な国籍の人と一緒に英語を勉強したり、ニュージーランドの壮大な自然を感じたり、ホストファミリーとの時間も、すべての瞬間が新鮮で楽しかったです。日本人が多かったことは英語の学習面では良くなかった点かもしれませんが、同じ目標を持つ友達、また、日本を離れて夢に向かって努力している人に出会うことが出来ました。言いたいことが言えずもどかしい気持ちになることが多くあり、この悔しさを今後の英語の勉強のモチベーションにしたいと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ英語(ニュージーランド)
-----	----------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 40,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	9000 円	
現地通学費	8679 円	(研修先まで 25 分)
教養娯楽費	52,701 円	
被服費	6,508 円	
雑費	0 円	
その他	9,734 円	例:お土産
合計	126,622 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:空港で換金しました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
どこのお店でもクレジットカードが使えたので支払いはほとんどカードで行いました。友人とご飯を食べた際に割り勘の際は現金でのやり取りが多かったです。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
エージェントの方が紹介して下さった ESIM を買いました。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
とても寒かったので防寒グッズはしっかり準備した方がいいと思いました。水筒を持っていくといいと思います。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり(問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ニュージーランドは比較的安全な国だと聞いていましたが、夜道は人が誰もおらず少し怖かったです。夜遅くなった時はホストマザーが迎えに来てくれた時もありました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に不自由なく使えました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 2) 部屋の形態

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☐ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) ホストマザーがとても親切で安心できるホームステイ生活でした。子供達と遊んだり、夕食の時に家族で話す時間はスピーキングの練習にも繋がったと思います。ただ、私のホストファミリーは忙しかったので一緒にお出かけする時間はあまりなかったです。
--

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 良かった点は、ニュージーランドの文化について学んだり、現在の世界で起こっている社会問題についてディスカッションを行うことでスピーキング力や語彙力の増強に繋がったと思います。良くなかった点は、とても日本人が多かったので日本語が聞こえてくるが多かったです。
2)課外プログラムについて 有名なテカポ湖やアカロアに行くスクールトリップに参加しました。小旅行なのでそれなりにお金はかかりますが、綺麗な景色や星空はそれを忘れるくらい素晴らしいものでした。
3)現地での生活に関すること 学校が終わってから毎日色々なところに観光に行きました。電車がないので全てバス移動でした。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 現地の学生との交流はなかったです。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 特になかったです。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 ニュージーランドは夜が早く、毎日早寝早起きでした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上) 私はスピーキングが特に苦手だったため少しでも自信に繋がればと思い、この短期留学を決意しました。学校での4時間の授業とホームステイは特に自分の英語力を上げるいい時間だったと思います。日本人がとても多かったのは難点だったと思いますが、その中でも高い英語力を持っている人は沢山いたのでとてもいい刺激になりました。ニュージーランドは人口が少なく、落ち着いた街で自然が豊かだったのでした。治安も良く比較的安全なので、とてもおすすめです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	31500 円	
図書費・学用品費	200 円	ノートを現地で購入
携帯・インターネット費	3948 円	eSIM
現地通学費	7000 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	44648 円	学校の週末アクティビティ、ゴンドラなど
被服費	7683 円	H&Mにて上下 1 着ずつ
雑費	11973 円	歯磨き粉、ティッシュ、ハンドクリーム、ホストファミリーに贈るお花など
その他	10000 円	お土産
合計	116952 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田空港と現地のショッピングモールにて換金 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードのタッチ決済
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
「Klook」というアプリからニュージーランド eSIM を購入した。渡航前に 10GB(2572 円)を購入したが、渡航中に使い切ってしまったため追加で5GB(1376 円)を購入した。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
・水筒(スーパーや自動販売機で買うと高いため、学校にウォーターサーバーがあるのでお金を節約できる) ・日本のお菓子(ホストファミリーやクラスメイトとのコミュニケーションを取るきっかけになる) ・風邪薬(時差と気温差で初日に体調を崩したので持って行って良かった)

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: UTS の職員) 特記事項: 帰りの飛行機がエンジンのトラブルにより欠航になりました。次の日の午後に変更になり、当日は航空会社が用意したホテルで過ごしました。
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
Oh-o! Meiji の「渡航中の危機管理について」や体験記を読み情報収集した。また Chat GPT にクライストチャーチの危険情報を聞いて参考にした。とても治安が良かったので犯罪に巻き込まれることはなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
学校の教室やホームステイ先の場所によっては繋がりにくいことがあったのでインターネットはオフにして使用することが多かった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☒自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

私のホームステイ先は非常に寛容な家庭でした。お風呂は好きな時間に入ることが出来て、洗濯についても私がお願いしたら洗ってくれました。しかし家庭によってルールは異なるので、分からないことがあれば質問することが大切です。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

研修先の授業において、良かった点としては、まず英語を話す機会が非常に多かったことが挙げられます。授業の中でゲームやパーティーが開催され、クラスメイトと自然に交流できる場が設けられていたため、友人関係を築きやすく、英語を使う環境に積極的に参加することができました。また、日本人同士で休み時間に日本語を話してしまう場面もありましたが、先生がその都度「Speak English!」と声をかけてくださったことで、意識的に英語を使う機会が増えたのも大きな利点でした。

一方で、改善すべき点としては、大学の授業と異なりパソコンや iPad を使用せずに授業を受けていたため、どうしてもノートを取る量が少なくなってしまう、後から復習を行う際に不便さを感じました。特にデジタル機器を使った記録や整理に慣れていなかったため、紙媒体でのメモだけでは情報を十分に蓄積できず、効率的な復習が難しかったと感じています。

2)課外プログラムについて

週末に学校が主催する二泊三日のテカポ湖旅行に参加しました。湖の近くの宿に泊まり、夜には満天の星空を観察し、朝は湖畔で美しい朝日を見ることができました。日中は周囲の山へ出かけ、日本ではなかなか見ることのできない雄大な景色を堪能しました。大自然に囲まれた素晴らしい時間を過ごすことができ、とても満足のいく週末となりました。

3)現地での生活に関すること

現地での生活は非常に快適で、大きなストレスを感じることはほとんどありませんでした。その理由として、まず食事がおいしく、日々の生活に満足感を得られたことが挙げられます。私の家庭ではいつも 1 プレートの料理が出されて、ステーキやチキンバーガーなどお肉料理が多かったです。また、物価もヨーロッパほど高くないため、経済的な負担をそれほど意識せずに過ごすことができました。さらに、街中には多くのバスが走っており、移動がしやすかったことも快適さにつながりました。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

ホームステイ先に大学生の娘さんが二人いたのでご飯を食べるときなどに交流しました。また週末のテカポ湖のアクティビティに参加したときに同じゲストハウスに泊まっていた

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

クライストチャーチ市内にボルダリングジム(Boulder Co.Christchurch)に一人で行きました。そこでは現地の方がたくさんいて、一緒にボルダリングをする中で交流することが出来ました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

現地での生活において印象的だったことの一つは、公共交通機関の利用マナーです。バスを降りる際に「Thank you!」と運転手に声をかける人が多く、感謝の気持ちを表す習慣が根付いていることに驚きました。また、バス停でただ待っているだけではバスは停車せず、乗りたい意思を示すために手を挙げて合図を送らなければならない点も、日本との違いとして印象に残りました。

生活スタイルについては非常に規則的で、22 時前には消灯することが一般的であり、日常のリズムが早いと感じました。加えて、多くのお店が早い時間に閉店するため、買い物をする際には計画性が求められました。

また、食生活については、ニュージーランドといえば羊が多いと聞いていたものの、実際にはラム肉が食事に出てくることはなく、鶏肉や牛肉を使った料理が多く提供されました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

今回の研修は費用面では決して安くはありませんでしたが、それ以上に得られるものが多く、とても良い経験ができたと感じており、全体として大変満足しています。留学を通して、英語力だけでなく異なる文化を持つ人々とのコミュニケーション能力も大きく向上しました。

これから留学を考えている後輩へのアドバイスとしては、出発前にできる限り英語の勉強をしておくことを強くおすすめします。初日にはクラス分けテストがあり、上のクラスに入ればより多くの外国人学生と交流する機会が増えます。授業についていくのは正直かなり大変でしたが、その分だけ成長を実感できる場面も多かったです。

また、授業や日常生活の中では「とにかく声に出してみる」ことが大切だと学びました。自分では失敗を気にしてしまいがちですが、周囲の人は思っているほど気にしていません。むしろ積極的に話しかけることで関係が広がり、短期間でも多くの学びを得ることが

きます。特に 3 週間という限られた時間で成長したいのであれば、遠慮せずに話すことを心がけるべきです。たとえ変な人だと思われる、3 週間後にはお別れなのだから気にする必要はありません。

この研修を通して得た経験を今後の学生生活にも活かし、さらに積極的に挑戦していきたいと考えています。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 4~5 万 円	バーとかの会計は適当でした。
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2541 円	e-SIM(klook) クーポンコードで 300 円割引できました。
現地通学費	7245 円	(研修先まで 約 15 分)Metro カード(約 431 円)
教養娯楽費	24666 円	映画(1642 円),ラグビー観戦(864 円),競馬(2160 円),エクスカッション(約 20000 円)
被服費	57805 円	オールブラックスグッツは高いです。セールを逃したのも痛かったです。
雑費		お土産(?円),
その他	199879 円	例: 航空券(174340 円), 前泊ホテル(4478 円), NZeTA(10111 円), AustralianETA(1920 円), 学生保険(9030 円)
合計	約 33 万 円	これにプログラム費 373000 円を足して、総額約 70 万でした。他のプログラムに比べれば少ない費用で、英語圏の国に行けて、たくさんの経験もできるので、特別良いプログラムだと思います。

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: CHC 空港で 2 万円両替しました。割り勘があるので少しは持っておいたほうが良いと思いますが、市内でも両替所はあるので、日本円さえあればいつでも現金は作れます。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード JAL navi カードにしたので帰国したら、マイルが貯まっていたので良かったです。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
e-SIM klook で 30 日・10GB のものを購入しました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ラグビーボールを持っていけば良かったです。公園には必ずと言っていいほどボールが立っているし、周りの人もラグビーに興味があったので後悔しています。現地で買って学校に置いていったので、これから行く人はラグビーができるようになっていきます。Youtube で Kiwi slang (ニュージーランド特有の英語) を調べたのは良かったです。授業でスラングを扱う時もあるので役に立ちました。でも、もっとプリティッシュイングリッシュを勉強して行けば良かったと思います。特にホストファミリーはそっちの訛りが強めで、最初の 1 週間は小学生レベルの単語も聞き取れなくて迷惑をかけました。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホストファミリーと話し合った結果、危険な事は一切ないという結論に至りました。ただ、英語力不足や飲み場の場(酔っ払い)に慣れていないと、怖いと感じるかもしれません。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
語学学校やホームステイ先にも Wi-Fi がありましたし、外にいる時は Map くらいしか使わなかったもので、10GB で十分でした。事前に e-SIM の使い方やデータローミングの仕方などを念入りに確認しておけばよかったと思います。日本とニュージーランドでは問題ありませんでしたが、トランジットで立ち寄った国でスマホが使えなかったのも、機械系が苦手な人ほど準備をした方が良いと思います。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
ハズレのホームステイ先なんてないと思います。どこの家庭もそれぞれの良さがあります。ただ、真冬ということもあって、特にバスルームは寒かったです。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
語学学校は海外の高校みたいな感じです。クラスは正直言って、当たりでした。まず、担任の先生がマオリの方で、文化や言語が好きだったのもあって、マオリの文化を教えてくださいました。それだけでなく、クラスメイト達の国の文化や言語についても、ディスカッションを通してたくさん学ぶことができました。
2) 課外プログラムについて
エクスカージョンでレイク・テカポに行けました(一泊二日)。バスの運転手さんがガイドを兼ねていて、ツアーに参加した感じです。自分が帰ってからアカロア日帰り旅行が開催されていたのが残念でした。エクスカージョンは毎週あるわけではなく、3 週間プランだと週末が 2 回しかないの、行きたくても行けないことがあります。お知らせも遅めだったので、自分で計画して行く場合もあることを考慮して欲しいです。
3) 現地での生活に関すること
クライストチャーチは小さな都市なので、自分にとっては 3 週間だけでも非常に満足できて、慣れることができます。4 週間の人たちはもっとディープなことができそうです。留学とは言い難い短い期間ですが、長期留学のようにその土地に慣れ親しむことが可能です。またクライストチャーチに誰かと来たら、案内できるくらいにはなりました。そこがクライストチャーチのプログラムにして良かった点だと思います。アメリカに 3 週間とかだと、やりたいこともできずに帰ってきてしまいそうです。

交流等について
1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
語学学校がカンタベリー大学の敷地内にあるというのが、他のプログラムとは違い、選んだ理由の一つなのですが、交流は一切ありませんでした。学生達が忙しいのは承知ですが、放課後クラスで交流できるアクティビティを開催してもいいのではないのでしょうか。しかし、自分はラッキーなことに、ホストブラザーがカンタベリー大学の生徒で、彼の研究所に案内してもらったり、一緒にゲームをしたり、ご飯を食べたりしました(彼はフラットハウスに別居していたので、たまにしか会えませんでした)。また、個人的にカンタベリー大学ラグビー部主催の活動に参加しようとしていたのですが、行く前から連絡が付きませんでした。現地で語学学校の先生の助けもあって、連絡はついたのですが、シーズンが終わって活動していないとのことでした。すごく参加したかっただけあって、残念でした。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
クラスでは色々な国籍の人と友達になれます。あと一緒にタイミングで渡航してきた日本人とも仲良くなれました。彼らと、平日は学校が屋に終わるので、昼飯を食べて、観光やショッピングに行ったり、飲みに行ったりといった感じです。週末はハイキング、ラグビー観戦、最終日は仲の良い日本人・タイ人でクラブに行ったのが思い出です。

異文化体験について
1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
1 番の思い出は、担任の先生にハカを教わったことです。行く前からラグビーが好きで、ハカに惹かれていたので、現地に行ったら習得しようと思っていました。ある日、先生に直談判しに行ったら歓迎してくれました。マオリの文化は美しいものですが、彼らには悲しい過去もあります。複雑なところではありますが、慎重に理解していき学んでいきました。最高の先生のおかげで、今ではマオリの文化や人が大好きで、もっと知りたいと思うようになりました。授業中に教わっていたので、全く興味がなかった人には申し訳ありません(そんなクラスメイトはいませんでした)。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

軽い気持ちでこのプログラムに参加しましたが、その選択が正解であったことは間違いありません。今のところ、最も密な 3 週間だったのではないのでしょうか。しかし、3 週間が終わってから感じたことは、出発地点に立ったということです。少し大袈裟な表現かもしれませんが、自分の夢であるアメリカでの長期留学や世界旅行などにつながればいいと思っています。

これからこのプログラムに参加する人に言いたいことは 3 つです(ありきたりになりそうなので、違うことを言います)。1 つは、帰りの際にどこかにステイしてみたいかということです。話が一旦逸れますが、自分は行きの飛行機を自分で取って、一人で来て、一人で前泊しました。エージェントの方が手配してくれた便と一緒に来た人達もいましたが、せっかくなら一人で行ってこいと言いたいです。行きで仲良くなれたと言っていました、現地についてからでも仲良くなれます。自分はこの行きの 1、2 日でカルチャーショックを乗り越えた気がします。一人旅は絶対に自分を強くしてくれます。話を戻すと、帰りに東南アジアとかで数日もストップオーバーすれば、行く前より成長した自分が見えるし、もっと色んな経験をしてから帰国できます。あんまり日本好きじゃない人は帰ってきたところでもいいことはありません。航空券を予約するのは早い段階ですが、帰りに“寄り道”しても後悔はしません。これが自分がすれば良かったと 1 番後悔していることです。もはや、プログラム内容に入ってもいいくらいです。

2 つ目は、1 年生にもっと参加してほしいということです。もしかしら、アメリカとかイケイケの所に行っているのかもしれませんが、このプログラムに参加していたのは 2 年生が多めでした(自分と同じ日程の明治の 1 年生はいませんでした)。先輩方は、(いわゆる当たりで)変に敬語とか気を使わなくていいと言ってくれたし、大人の世界も教えてくれました。ただ、自分が経験したように、18,19 歳には刺激の強い経験を他の人にも経験してほしいのです。

最後のアドバイスとして、このプランの日程は 3 フェーズくらいあると思いますが、最初のプランにした方がいいと思います。理由としては、夏休み入ってすぐなので語学学校に日本人が少ないことや、研修が終わってから時間が確保できることなどが挙げられます。最後の週に 2 フェーズ目のグループが来ましたが、先生たちは”Japanese season”って呼んでるんだとか冗談こいてました。その頃には、他の国籍の人が卒業してしまったりするので、出会いも少ない気がします。このプログラムはもちろんです、語学学校がメインです。しかし、あまり語学学校の雰囲気や仕組みなどの情報は行く前は掴みづらいと思います。なので、参加する前に有識者に聞いておけば実感も湧きやすいと思います。

この 3 週間で出会った仲間達と再会できることを願って、報告書の結びとさせていただきます。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL Christchurch 英語研修
-----	------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	15000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	0 円	海外でも使える回線を普段から日本で使用していた。
現地通学費	11000 円	(研修先まで 50 分)
教養娯楽費	10000 円	観光
被服費	0 円	
雑費	10000 円	
その他	0 円	例:
合計	46000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
キャッシュレスでの支払いがほとんどだが、アメリカンエクスプレスを使えるところが非常に少ないので注意。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Wi-Fi は学校にもステイ先にも完備されていた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ホッカイロを持っていけばよかった。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 学校の日本人のスタッフの方) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
治安についてあまり詳しくは知らなかったが、安全な街だった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題なかった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
ステイ先のごはんの量が少なかったと言っていたクラスメイトが多かった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
クラスの半数が日本人、3割がタイ人、他に台湾、韓国、中国出身といった構成だった。日本語が話せる安心感は常にあった。
2)課外プログラムについて
13時に授業が終わり、ステイ先の夕食までは自由時間だったので観光を満喫できた。
3)現地での生活に関すること
不自由なく生活できた。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
ニュージーランドの学生との交流は一切なかった。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
ステイ先のファミリーがハカを披露してくれた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

CCELには、日本人のスタッフの方が常にいらっしゃり、授業やホームステイの状況など、少しでも困ったことがあればいつでも日本語で相談することができ、安心して過ごせる環境が整っています。また、日本の学生の割合が多いので、他大学や社会人の新しい友人とたくさん観光するのもとても楽しい思い出になります。もちろん他の国のクラスメイトともたくさん交流でき、彼らの根っからの明るい性格に憧れました。クライストチャーチの自然を楽しんだり文化を学んだりしたい方にとってもおすすめです！
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL Christchurch 英語研修
-----	------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	60,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	0 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 5 分)
教養娯楽費	20,000 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	円	例:
合計	80,000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で両替してから行った その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 eSIM を使用した。携帯用の Wi-Fi を使っている人は一日にどのくらいまでしか使えない、とかの制限があったけど eSIM は日本にいるときと変わらずスマホが使えたからよかったと思う。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 変換プラグと変圧プラグを両方準備しておくドライヤーなどを持っていくときは便利だと思った。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
同じクラスの元からいた日本人学校周辺のことについて聞いていた。日本にいるときよりも夜にはもう家に帰っているように心がけた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題なかった

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
自由度が思ったよりも高くてよかったけど、友達の話聞いていたらすべての家庭が同じような感じではないから最初から期待しておくのはお勧めしなかった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
個人渡航型だけど、同じプログラムの人で同じ飛行機になるのが団体に動けるからよかったと思う。 もともと先生が休んだ日がテストの日で代わりの先生が担当した時があったけど、先生同士で伝達がうまくいってないと感じた。
2)課外プログラムについて
いろいろなアクティビティがあって、普通に個人で行うよりも低コストでさまざまな体験ができたからよかった。
3)現地での生活に関すること
ニュージーランドの人は基本的に親切で、バスの仕組みと乗り方さえ習得すれば生活するには何も困らないと思った。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
放課後に毎日お出掛けしてみたり、授業の間の休みにも何気ない会話をしたりして同じ目標を持っているから仲良くなるのが早かったように感じる。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
フードコートのようなところでご飯を食べていると、日本とは違いたくさん話しかけてくるけどみんな笑顔で話をしてくれたり、聞いてくれるから楽しかった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この三週間の経験が強みとなって、これからまた留学に行くときも留学ではない何か新しいことをするときもためらうことなく挑戦しようと思えるようになるだろうと思った。生活面では共有のスペースはもちろんのことホームステイ先の生活リズムがあるから何かしようとするときは必ず許可をとって、してもよいことなのか不安なまま事を進めないことが大事だと思った。ホームステイ先との関係が留学の期間をいい思い出になるかどうかにかかるとすごく影響すると思った。
--